

会議・打合せ等記録

市 長	副 市 長	教 育 長	教育次長	図 書 館 長	管理係長	奉仕係長	担 当

報告日：令和 8 年 6 月 9 日

A-209

名 称	鹿沼市立図書館協議会（令和 8 年度 第 1 回）
日 時	令和 8 年 5 月 20 日（水）13 時 55 分～15 時 40 分
場 所	図書館本館 2 階視聴覚室
出 席 者	委員 （敬称略） ：須田、大音、小杉、光野、中島、高田、宮本、野中、大武、（欠席：増田、小宮、福田） 事務局 ：中村教育長、柿沼教育次長、市川館長、大出分館長（東分館）、福田栗野館長、廣田管理係長、野中主査、橋田主任主事（書記）、渡邊主査、杉山主任主事、佐野学芸員兼郷土資料調査専門員、（欠席：高野奉仕係長）
内 容 及 び 結 果 等	1 開会（市川館長）
	2 任命書の交付 対象者が欠席のため省略
	3 あいさつ（教育長・委員長） 中村教育長） 委員の皆様には、日頃から学校教育、社会教育及び家庭教育の推進に協力いただき、誠にありがとうございます。 本市では昨年度に「第 9 次鹿沼市総合計画」を策定し、本年度は「第 3 次鹿沼市教育ビジョン」及び「鹿沼市民読書活動推進計画」を策定いたします。「教育ビジョン」は皆様の団体等にアンケートのご協力をいただいております。「読書活動推進計画」はこれまでの子どもの読書活動に加え、生涯にわたる読書活動の推進を目的といたします。委員の皆様にご協力をいただきながら、市民の皆様の声を計画に反映したいと考えております。 任期 2 年目を迎えるにあたり、委員の皆様には、図書館が市民の身近な情報拠点として、また、より多くの方の居場所として充実を図れるよう、様々な視点から忌憚のないご意見をお願いいたします。 須田委員長） 任期 2 年目として、活動を継続していきたいと考えております。 私は図書館が好きであり、利用者に「来るのが楽しい図書館」と思っただけことが理想と考えております。しかし、実際のところ保護者の方々は時間に追われ、図書館に足を向けることが難しいと思います。図書館に子どもを連れて来られる様に、何か私たちにできる事はないかと考えております。 協議会でも何か楽しんでいただける方法を考えていきたいと思ひます。
	4 委員、職員紹介 委員、職員（事務局）が順次自己紹介
	5 議事（鹿沼市図書館条例施行規則第 36 条第 2 項により、委員長が議長となる。） （1）第 1 号議案 令和 7 年度 事業実施状況報告、利用状況について [事務局説明]

	・ 事業実施状況報告について、本館・栗野館を福田栗野館長、東分館を大出分館長が説明。 ・ 利用状況について廣田管理係長が説明。 [質疑] 宮本委員) 15 ページ「貸出人数」について、令和7年10月に東分館の休館日が月曜日から金曜日に変更になったが、影響はどうか？ 個人的には、東分館が月曜日（他館休館日）に開館してくれるようになり利用しているが、休館になった金曜日に誤って行ってしまうことがある。 →大出分館長) 月曜日に「今日は開館しているか。」等、休館日の問い合わせは、現在でも寄せられる。影響としては、確実に開館している土日祝日に、利用が集中する傾向である。 →市川館長) 継続して周知を行う等、浸透するように努める。 須田委員長) 13 ページ東分館事業に「センサリーバッグ」とあるが、どのようなものか？ →大出分館長) 薄いのりの中にビーズ等を入れて固めて遊ぶ、知育のおもちゃである。 ⇒拍手により承認
	(2) 第2号議案 令和7年度 寄附申込み財産等受入れ状況について [事務局説明] ・ 福田栗野館長が説明。 [質疑] なし ⇒拍手により承認
	(3) 第3号議案 令和8年度 事業計画（案）について [事務局説明] ・ 事業実施状況報告について、本館・栗野館を福田栗野館長、東分館を大出分館長が説明。 [質疑・意見等] 光野委員) 19 ページ「群読を楽しもう」は、昨年度、どちらかというとな人の方向けに実施（2 ページ）し、大人9名の参加があり好評だった。もちろん、お子さんも連れてきていただいて構わない。今年度は、11月に開催予定なので、ぜひ参加して欲しい。 須田委員長) 19 ページ「点字体験講座」は、昨年度も対象が小学生とその保護者だったが、一緒に来た保護者の方が強い関心を持ち、継続して講習会に参加している。もちろん子供に点字を覚えて欲しいが、なかなか1回で覚えられないので、お母さんが一緒になってやってくれたら、子どもも興味を持ってくれてすごく良いことだと思う。ぜひ続けて点字体験講座をお願いしたい。 中島委員) 20 ページ「給食に関する展示」は面白かった。脱脂粉乳やインド煮等、興味深かった。 →市川館長) 今回の展示は、保健給食管理室の栄養士に監修してもらった。今後もガラスケース展示については、他部署と連携した企画を行い、利用者を楽しんでもらえる展示を目指す。

	高田委員) イベントチラシに申込みの2次元コードを記載してもらえるようになり、便利になった。 →市川館長) 2次元コードで可能な部分は積極的に推進していく。問題点も出てくると思われるが、研究しながらすすめていく。 ⇒拍手により承認 (4) 第4号議案 令和8年度図書館協議会開催予定について [事務局説明] ・ 廣田管理係長が説明。 ・ 例年、第2回は視察研修も予定しているが、今年度は5年に一度の「読書活動推進計画」の策定年のため、会議を開催する。 ⇒拍手により承認 (5) 第5号議案 鹿沼市民読書活動推進計画の策定について(第1回策定懇談会) [事務局説明] ・ 市川館長が策定懇談会の位置づけ・計画の変遷と根拠法令等を説明。 ・ 今回は、子どもから大人まで全ての市民を対象とした、生涯にわたる読書活動の推進を目的とする。 ・ 国は読書のバリアフリー化を進めている。鹿沼市でも障がい者の意見を取り入れていく方針である。 ・ ディスレクシア(読み書き困難者)、高齢者、外国人も対象に含める。 ・ 5月12日に策定委員会・ワーキンググループを実施した。 ・ 前回までのアンケート調査に加え、今回は市民ワークショップも実施予定である。 ・ ワークショップは、8月8日と9日を予定している。 ・ 現行の第4次子どもの読書活動推進計画を振り返ると、「読書通帳の50冊達成者数」は、コロナの影響等もあり、目標達成は厳しい。「バリアフリー図書の導入」は目標を達成している。 ・ 基本方針などについては、策定委員会やワーキンググループで検討中である。 ・ 委員の皆様にも、鹿沼の読書活動をどのように推進していくか、意見をいただきたい。 [質疑・意見等] 須田委員長) 挙がってきた意見をもとに協議するということか? 対象が子どもだけでなく、大きくなることが大きな変更点か? →市川館長) そのとおりである。 大音副委員長) 県の会議に参加したが、地元の書店と連携という意見があったが、市ではどうか? →市川館長) 国も、図書館と書店などの地域との連携協働による読書のまちづくりを推進し、支援している。市としても、連携していきたいと考えており、書店組合を通して意見を伺いたいと考えている。 また、地域との連携として飲食店などが加盟している「ちいさな図書館事業」は、コロナの影響等ですまなかった。事業の役割等を考えて推進
--	---

	していきたい。 光野委員) 図書館に来館しなくても、本が借りられるよう、移動図書館があれば便利ではないか？ →市川館長) 図書館以外では、貸出文庫事業で、各コミュニティセンター等での貸出しを行っており、その事業を充実させていきたい。 柿沼次長) 今回いただいた意見等を基に、資料2の2ページの計画策定体制のとおり、事務局で素案の作成をすすめていく。アンケートや8月のワークショップを行い、市民や各部署の意見をとりまとめ、次回協議をお願いする。 市川館長) 資料をご覧になった上で、改めて意見等あればお願いする。 須田委員長) アンケートやワークショップの参加者募集は、広報かぬま、館内で行うのか？ →市川館長) 広報かぬまで募集する他に、障がい者の方等からも意見を集めたいので、策定委員やワーキンググループのメンバーにも、どのような団体等に参加してもらえるか意見を聞いている。 →須田委員長) 障がい者の方に意見をいただく事は大切だが、提出などで負担がかからない方法を考えて欲しい。 →野中委員) 支援学校の先生(市外)にも協力してもらったらどうか。 →市川館長) 基本的には、市民(市内)が対象になる。 →光野委員) 障がい者本人にお願いするより、ヘルパー等を通した方が要望を集めやすいのではないかと考える。 →市川館長) 地域包括支援の担当部署にも意見を聞いて進めたい。 市川館長) 次回は、アンケートやワークショップを実施後、10月開催予定の第2回策定懇談会で協議をお願いする。		
	8 その他 ○メールアドレス登録のお願い 廣田管理係長) 協議会の開催日等も、決まり次第メールでの連絡も出来るようにしたい。賛同いただける方は、別紙の「電子メールの送信同意書兼メールアドレス確認書」の提出をお願いします。		
	9 閉会		
配 布 資 料	令和8年度 第1回 鹿沼市立図書館協議会(資料) 鹿沼市民読書活動推進計画の策定について 電子メールの送信同意書兼メールアドレス確認書		
次 回 予 定	10月頃		
記 録 者	図書館 管理係 主任主事 橋田 知大		
鹿沼市審議会等の会議の公開に関する要綱第2条に基づく審議会等の公開状況 (該当する審議会等以外の会議・打合せ等については記入不要)			
公開・非公開の別	公 開	(公開の場合) 傍聴人数	0 人